

法典だより

学校評価特別号 令和6年3月1日
船橋市立法典小学校
連絡先:439-0832

学校教育目標:自ら進んで行動する児童の育成 学ぶ子・豊かな心の子・身体をきたえる子 『本気で取り組む法典小学校』

早春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。さて、学校評価アンケートへのご協力、ありがとうございます。アンケート結果を基に、来年度に向けての改善策を練り、学校評議員の皆様にご意見をいただきました。以下に、アンケートの結果と今後に向けてのまとめをお知らせいたします。

I 教職員アンケートについて

・学校教育目標「自ら進んで行動する児童の育成 ～本気で取り組む法典小学校～」について

肯定的な回答が多く見られました。昨年度から、「本気で取り組む児童」の育成に向けて、職員一同、教育活動に臨んできました。来年度も引き続き学校全体で目標達成に向けての意識の継続を図るとともに、目指す児童の姿をより明確にして指導にあたっています。

・生活指導・児童理解について

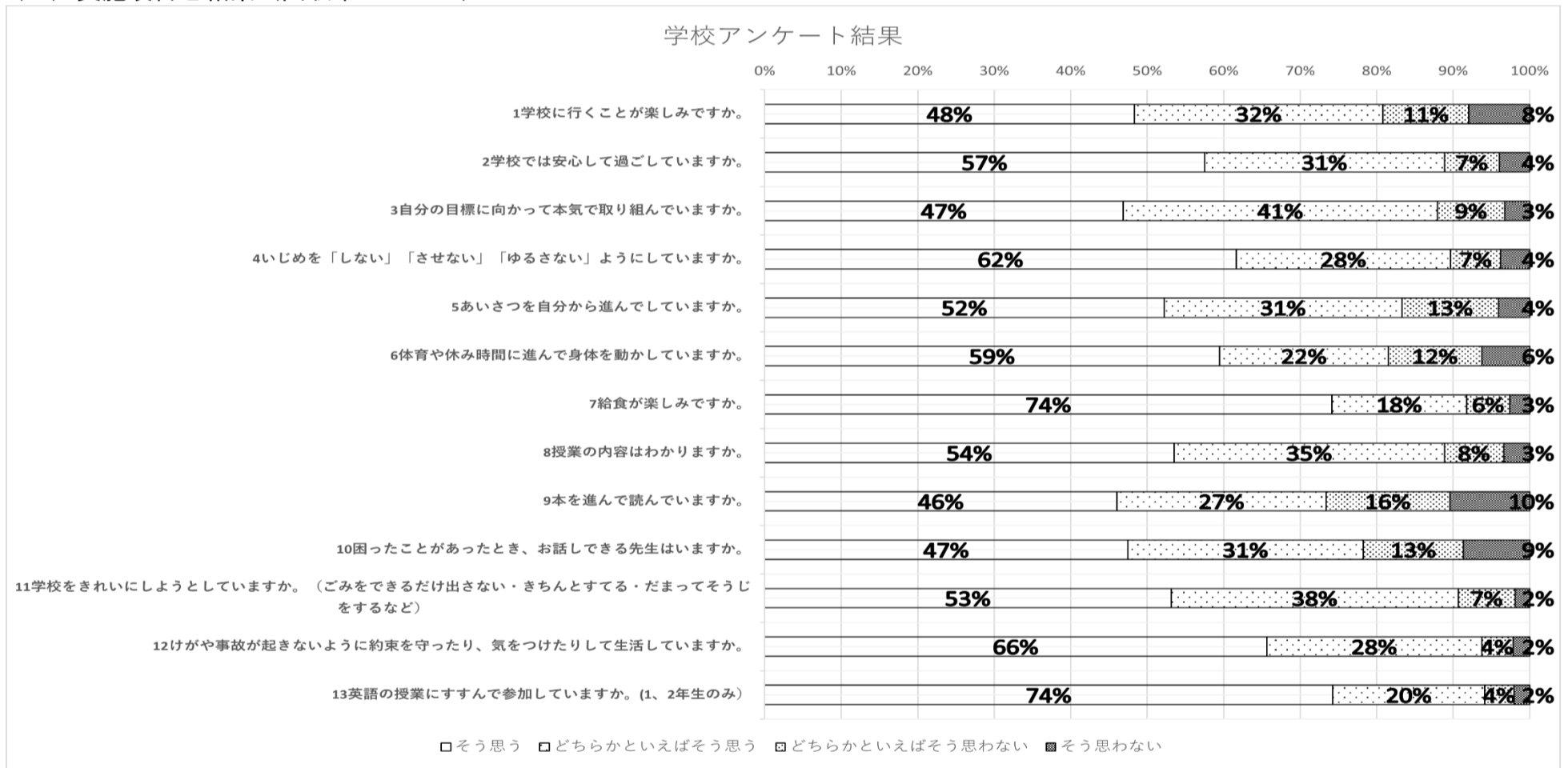
肯定的な回答が多く見られました。特に、児童の頑張っていることを認めること、人権に配慮した指導、全職員で児童を支援する体制について、昨年度より肯定的な回答が増加しました。児童を理解するように努力し、様子を丁寧に見たり、保護者の方と連携を図ったりして、児童のよりよい成長に向けて指導、支援に努めてきました。今後も、相談体制を充実させるなどを行い、児童一人一人を大切にしていきます。

・学習指導について

本校の研究主題「自ら学びに向かう児童の育成～対話によって学びを深める授業の工夫～」に向かい、授業改善等を行い、学校全体で研究を進めてきました。特に、今年度は「対話」を意識した授業づくりを行い、対話をどのような目的で、どの場でどの方法を活用し、どのように評価を行うのかを明確にするよう意識しました。また、学習規律の徹底や ICT の活用についても、力を注ぎました。一方で、基礎基本の定着については課題が残っています。来年度は、船橋市教育委員会指定の「確かな学力の向上」の研究公開もあるので、より一層充実した指導に努めていきます。

II 児童アンケートについて

(1) 実施項目と結果 (回収率 96.7%)



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、13項目中11項目において肯定的回答が8割を超えました。「そう思う」の割合を増やし、肯定的な意見がさらに増えるよう努力していきます。

・9 自主的な読書活動への取り組みについて

昨年度よりも肯定的回答の割合が高くなりましたが、全体を通して最も低いものとなりました。「図書」の時間を国語の学習の中に設定したり、読み聞かせや図書室でホームページを作成して本の紹介をしたりするなど、読書活動への関心を高める取り組みを実施し、結果図書の貸し出し冊数は船橋市の平均を超えるまでになりました。ただ、もっと読みたいと思う気持ちが強くなっているようです。引き続き、本に触れる学習活動の機会を大切にするとともに、児童の関心が高まる新刊本の紹介・整備などを進め、読書活動が充実するよう努めていきます。

・10 困ったことがあった時の相談先について

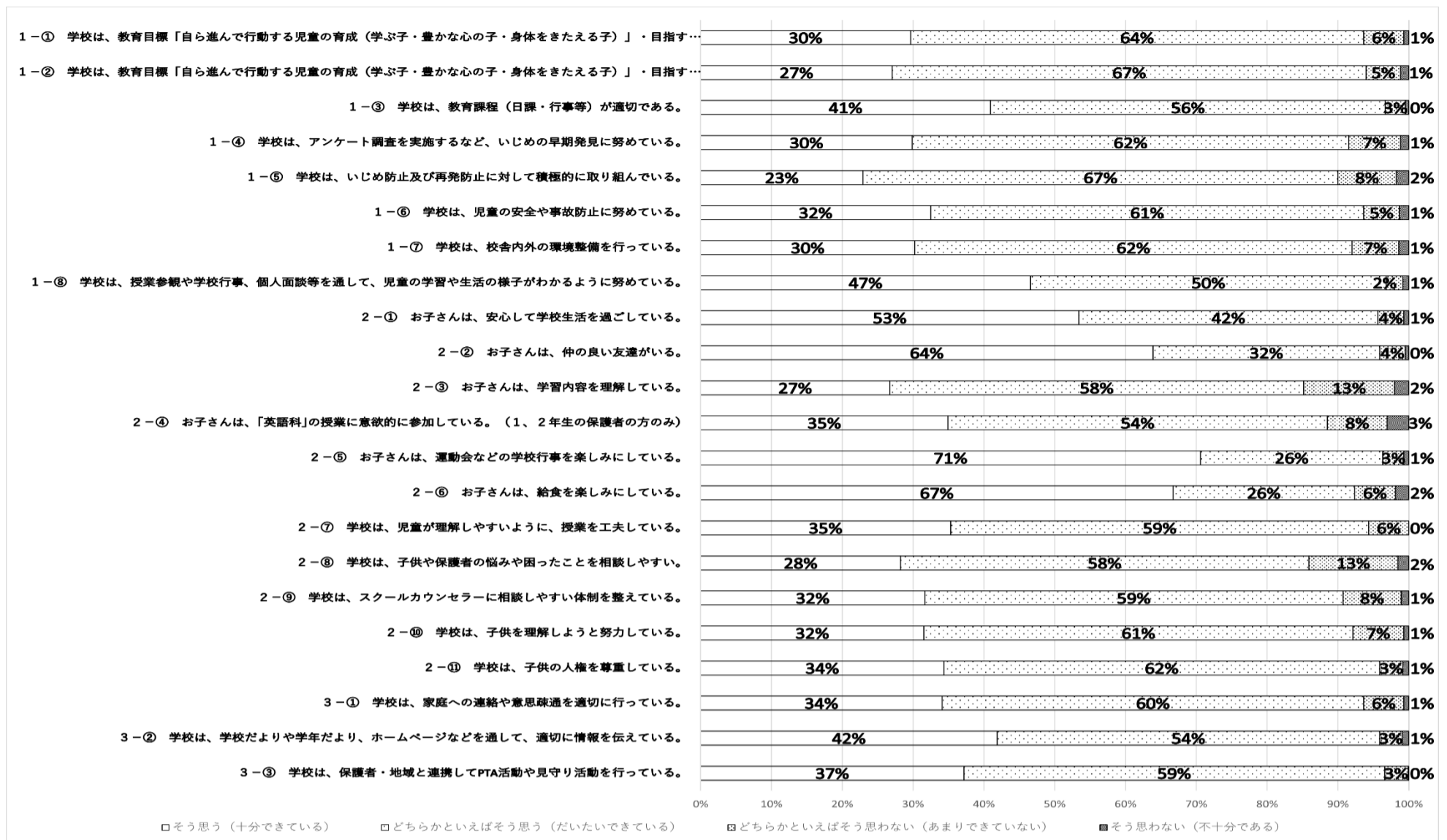
この項目も昨年度より肯定的回答が上昇したものの、8割に届きませんでした。担任による児童への定期的な声掛けや相談を行い、児童理解に努めてきましたが、児童には困った時、担任以外に「誰に相談してよいのか」「どうやって相談に乗ってもらったらよいのか」等が十分に理解されていなかったようです。年度初めに困った時の相談先として、スクールカウンセラーや相談箱「おあしすポスト」について周知するとともに、定期的に児童へ伝えて、児童が安心して悩みを打ち明けられる雰囲気を一層醸成していきます。

・12 けがや事故の防止について

児童の肯定的な回答の割合が高い結果となりました。しかし、交通事故や登下校の仕方についての課題が見られました。そのため、昨年度に引き続き教職員によるパトロールを定期的実施しました。子供たちへの注意喚起を継続して意識の持続を図り、学校全体として安全・安心な環境を提供するよう今後も努力していきます。

Ⅲ 保護者アンケートについて

(1) 実施項目と結果 (回収率 81.0%)



(2) 考察

「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を肯定的回答としたとき、すべての項目において肯定的回答の割合が8割を超えていますが、「そう思う」の割合がまだ低いので高まるように努力していきます。

・1-④・⑤ いじめ防止への取り組みについて

昨年度よりもわずかに肯定的回答は下がったものの、9割を超えています。今年度においても、児童への生活アンケートを年5回実施するとともに、日々の児童の様子の観察や担任による児童への定期的な声掛けを継続して行いました。また、主に道徳科や特別活動を通して、心の教育の充実にあたってきました。今回、「アンケートを見たことがない」や「アンケートが実施されていない」というご意見をいただきました。アンケート実施について、保護者の方へ周知を図っていきます。一方で、「トラブルがあった際に担任がすぐに対応してくれた」とのご意見もいただきました。今後とも、いじめととらえられる内容があった場合、その都度、解決するように努力していきます。学校のいじめ対策については今後も継続してお伝えをし、ご理解いただくとともに、家庭・地域との連携を図り、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に取り組んでいきます。

・1-⑧ 授業参観や学校行事、個人面談について

昨年度よりも、大きく肯定的回答が増えました。これについては、授業参観や学校行事の実施において、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったことで、制限等がなくなったことが、大きく影響していると思われます。特に、音楽発表会のリハーサルの参観を実施したことについて、「合唱を聞くことができてよかった」という声が多くありました。来年度も、今年度と同様に実施を考えています。

・2-⑧・⑨ 子供や保護者の悩みや困ったことの相談及びスクールカウンセラーについて

昨年度より、肯定的回答の割合が下がりました。相談しやすい環境を整えることに注力してきましたが、今後も児童や保護者の方の思いや悩みに寄り添い、ともに考え、より良い対応をしていくことを学校全体として一層努力していきます。

スクールカウンセラーについては、肯定的回答が昨年度より増えました。一方で、「存在を知らなかった」という意見もありました。年度初めの手紙での周知を引き続き行います。また、学校だよりの行事予定にスクールカウンセラーの来校日を掲載しているため、そちらもあわせてご参照ください。

・3-② 各種たよりやホームページでの情報の伝達について

昨年度より肯定的回答が増えました。ホームページ上で、今年度においても日々の学習や生活の様子を常に更新してきました。一方で、「更新が目立たない」とのご意見もいただきました。更新情報を発信できないものの、ホームページトップの「法典小学校の日々の活動の様子(随時更新)」や「新着情報」から、日々の活動の様子を掲載しているため、是非ご覧ください。

保護者や地域の方に少しでも本校の教育活動を知っていただくため、引き続き、学校の様子を学校だよりやホームページを通して伝えていきます。

Ⅳ 学校評議員より

・食育について、「旬の食材」や季節の変わり目、行事食など、日本の文化を大事にしてもらいたい。家庭でも、意識をしていただきたい。

・給食の項目の肯定的回答が高いことはよい。給食が一番楽しみという子供も多いだろう。

・「自分の目標に向かって本気で取り組んでいますか」の肯定的回答が高いのは、よいことだと思う。

・大規模校で、教職員の数も多い。相談相手は、担任しかいないと思う。そのような中でも、担任以外の所に相談に行けるような雰囲気を作っていければよいのではないだろうか。

・子供たちの挨拶が少ない。一つ一つの基本的な礼儀を大切にしてほしい。

・英語に対する関心が高いのは、よいことだと思う。

・読書の関心か低いのは、スマートフォン等の影響もあるのではないだろうか。

・ホームページでの学校生活の様子の発信はわかりやすいので、今後とも続けてほしい。

・学校行事について、保護者と子供と一緒に活動することは、大事なことである。

・学校行事について、地域と合同で行う等してみたいかがだろうか。地域と若い保護者や子供とのつながりづくりとなるのではないか。

・保護者が、さらに学校に興味をもってもらえるようにしたらよいのではないだろうか。

・子供の安全を見守るスクールガードや地域行事に、保護者の方も積極的に参加し、地域とのつながりを築いてほしい。

・児童と保護者のアンケート結果が異なる項目がある。それらの内容に目を向けることが大事なのではないだろうか。